

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	同済大学 (国名: 中国)	
参加プログラム名	2017 年同済大学中国語・中国文化サマースクール	
プログラム期間	2017 年 9 月 ~ 2017 年 9 月	
学部/学府・年次	文学部	4年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 「有」の場合、免除額を記入してください()	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (31410 円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) サマースクール参加費 10 万円 食費 17000 円 交通費 5000 円 その他 8000 円	
このプログラムを選んだ理由	比較的短期間で中国に行くことができ、中国文化、中国語を学ぶことができると考えたからです。また夏休みの自分が空いている時期にちょうど当てはまったため、参加してみようと思いました。	
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	

1. 参加プログラムと大学について	
プログラム(カリキュラム等)の概要について	<p>午前中に 2~3 時間の授業があります。教師は日本語学科の大学院生です。簡単な会話文などを学習します。</p> <p>午後は自由時間であったり、団体で行動することもあります。観光地を回ることがメインでした。それも大学院生が案内してくれます。太極拳の授業が 2 週間の間に 3 回あり、それは別の大学から先生を呼んでいました。</p>
主催大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)	<p>語学面...日本語学科の方が案内してくれるので、困ることはありません。</p> <p>生活面...困ったことがあれば、連絡すればすぐに対応してくれます。しかし最終的なところでは、自分がなんとかしないとイケないため、冷静に落ち着いて行動することが良いと思います。</p>
プログラムおよび大学に対する感想	<p>クラスを二つに分けて授業をしていましたが、どちらのクラスもほとんど同じ内容をしていたためもったいないなと思いました。もう少し難度が高くても良いと思います。ですが、ネイティブの発音を聞く機会が多く与えられていたので、勉強になりました。</p> <p>観光も行きたいところに連れて行ってくれ、自由時間も与えられていたので、自分たちで活動することができました。</p> <p>同済大学の方達が大変親切であるため、とても助かり、充実した時間を過ごすことができました。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>このプログラムは大学1、2年生を対象にしているものです。中国語を初歩から学ぶことができるので、中国語があまり得意ではないと思う人でも問題なく参加することができますと思います。</p> <p>また、自由時間が多いため、上海に来てしておきたい、行っておきたいと思う場所をあらかじめ調べておくと良いと思います。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>午前中に中国語の授業、午後は自由時間であったり、観光地に行ったり、太極拳や中国茶を味わったりする時間がありました。</p> <p>朝食と昼食は大学の方が用意してくれているので、自分たちは夕食と週末の食事のことだけを気にするだけで良いです。</p> <p>中国語の授業も観光も、同済大学の日本語学科の大学院生の方が中心に取り仕切ってくださいます。ですから、中国語を使う機会はあまりありません。それが残念だったと思います。日本語が話せる人たちがそばにいてくれると自分たちが中国語を使おうとしなくなります。なるべく自由時間で中国語を使うようにしました。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>食費 17000 円(平日の夕食と土日の三食) 交通費 5000 円(地下鉄…1000 円/高速鉄道…4000 円) その他(お土産、生活費など) 8000 円</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	VPN つきの wifi(中国ではラインや Google が使えず、急な連絡などに対応できなかったため) PC、変圧器は不要。(私はスマートフォンしか充電しないため、不要でした)
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	中国のトイレにはトイレペーパーがないことがあるので、ティッシュを多めに持ってくると思います。またお手拭きなどもないため、気になる人はウェットティッシュもあるといいです。 信号無視がよくあるので、交通には気をつけた方がいいです。 スリなどにはあいませんでした。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	クレジットカードは持参してよかったです。飛行機が運行休止されたため、クレジットカードを使って別の便を予約しました。 中国では、スマホやカードの支払いが多く、普及しているため、長期滞在する方は、銀行口座を開設して、スマホでの支払いができるようにすべきだと思います。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類(○印をつける)	・大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホテル <input type="checkbox"/> その他()
立地	大学に近く通いやすかったです。近くにコンビニや飲食店、地下鉄の駅も不便なく過ごすことができました。
伝えたい地域情報、生活情報	ホテルには洗濯機などはなく、近くにコインランドリーなどもないため洗濯は手洗いであり、中国の人もそれが当たり前だと思っています。また湿度が高く、雨もよく降るためなかなか洗濯物は乾きません。そのことをふまえて乾きやすい服を持ってきたり工夫をすべきだったと思いました。
5. その他の特記事項	
航空券を HIS のパックで予約していましたが、運行が休止になったとき連絡がすぐには来ませんでした。(HIS の営業時間を過ぎていたため) 航空会社のホームページを使って予約していた人にはすぐに連絡がきて、払い戻しもスムーズに進んでいたようなので、旅行会社を通して買うよりも航空会社から直接買った方が良いと今回は思いました。	